

かわさきしがいいこくじんしみんだいひょうしゃかいぎ
川崎市外国人市民代表者会議
(だい 1 4 期 だい 2 年 だい 3 かい だい 2 にち)
ぎじろく
議事録

1 にちじ 2 0 2 3 (れいわ 5) ねん 1 2 がつ と お か (にち) ご 2 じ 0 0 ぶん ~ 5 じ 0 0 ぶん
日時 2023(令和5)年12月10日(日) 午後2時00分~5時00分

2 ばしょ なかはらしみんかん
場所 中原市民館

3 しゅつぎしゃ
出席者

(1) だいひょうしゃ 1 2 にん
(1) 代表者 12人

いとう ゆりか きゃれん、ぐえん ぬー ふおん ざん、のだ ゆわリー、
ひりすとば がぶりえら、ペレーラ ラヒル サンケータ、マイ アサエル、
むはまど あいまん ありふ、やん ついいー、ゆでく まるちん、り かんかん、りゅう
ムハマド アイマン アリフ、楊 子宜、ユデク マルチン、李 歡歡、刘
晨、レイバーマン ケビン

(2) じむきょく
(2) 事務局

さとう かちょう すがはら たんとうかちょう みたむら かちょう ぼさ つつみ しよくいん いがらし しよくいん
佐藤 課長、菅原 担当課長、三田村 課長補佐、堤 職員、五十嵐 職員、
たかはし せんもんちょうさいん
高橋 専門調査員

4 ぼうちようしゃ 4 にん
傍聴者 4人

5 かいぎしだい こうかい
会議次第(公開)

(1) かいかい
(1) 開会

(2) じむきょくせつめい
(2) 事務局説明

(3) ぎじ
(3) 議事

(4) じむれんらく
(4) 事務連絡

(5) へいかい
(5) 閉会

【全体会】

ペレーラ委員長「それでは、これから川崎市外国人市民代表者会議、2023年度第3回第2日を開催する。今日はドウマヤスさん、ブリツィナさん、尹さん、李晨さん、林さんが欠席だ。それでは、今日の日程と配布資料の確認について、事務局から説明をお願いします。」

(事務局三田村課長補佐が説明)

ペレーラ委員長「次に、前回会議のまとめについて、事務局から説明をお願いします。」

(事務局高橋専門調査員が資料1に基づき説明)

ペレーラ委員長「何か質問はあるか。(なし) それでは、議事に入る。まずは、2023年度年次報告書についてだ。事務局から説明をお願いします。」

(事務局五十嵐職員が資料2に基づき説明)

ペレーラ委員長「何か質問はあるか。」

イトウ部会長「代表者の名簿についてだが、長期の欠席者の名前が載っていることに違和感を覚える。」

ユデク委員「私も同じ意見だ。一度、みなさんと話し合いたい。会議に来ない人を辞めさせることはできないのか。」

ペレーラ委員長「会議のルールに関して、事務局から説明をお願いします。」

事務局高橋専門調査員「代表者会議のルールである条例や要綱では、辞任以外で代表者の資格が取り消しとなるのは市外に転居したり、日本国籍を取得したりして資格が喪失した場合となっている。欠席が多い場合に、多数決で決めたとしても辞めさせることはできない。」

ペレーラ委員長「何か質問はあるか。」

李敏敏副委員長「ルールについては承知した。名簿の記載の仕方、たとえば長期で欠席であることを書いたりできないか。」

ペレーラ委員長「事務局はどうか。」

事務局高橋専門調査員「今、この場で明確な答えはできないが、1人だけそのように書くことは難しいと感じる。もし、書くのであれば、全員の出席状況を書くことになるかと思う。持ち帰らせて検討させてもらいたい。」

ペレーラ委員長「では、検討をお願いします。もう1つ、このことについて正式に議論したいという意見があったので、そのことについて決めたい。会議の場で正式に話したいか、会議以外の場で話したいかのどちらかで意見を聞く。会議の場

で正式に話したいという人は手を挙げてください。（ 全員挙手 ）では、次に今日審議するか、次回以降に審議するか決めたい。今日、審議したいという人は手を挙げてください。（ 4人 ）次回以降、審議したいという人は手を挙げてください。（ 8人 ）では、次回以降の会議で議事としたい。年次報告書については、ほかに何かあるか。（ なし ）では、次の議事に進みたい。次はイベントへの参加についてだ。事務局から説明をお願いする。」

（事務局五十嵐職員が資料3に基づき説明）

ペレーラ委員長「説明のあった多文化フェスタさいわいについて、何か質問はあるか。

（ なし ）では、多文化フェスタさいわいに参加することに賛成の人は手を挙げてください。（ 全員賛成 ）ちなみに、今の段階でどうしても参加できないという人はいるか。（ 李歆歆副委員長、レイバーマン委員 ）それ以外の方は、ぜひ参加をお願いする。次に、オープン会議の振り返りについてだ。事務局から説明をお願いする。」

（事務局高橋専門調査員が資料4に基づき説明）

ペレーラ委員長「何か質問はあるか。（ なし ）何か意見はあるか。」

楊委員「運営面というよりは日程についてだが、少し遅いと感じた。提言に反映するのであれば、もう少し早く実施できた方がよいと思う。」

事務局高橋専門調査員「仮に1か月早くするとすると、提言をまとめるのも早めることになるが、その点についてもあわせてご意見をうかがいたい。」

野田委員「提言の内容がそこまで固まっていなくてもよいのではないか。」

ヒリストバ部会長「5月のところにある振り返りの分を早めればよいのではないか。」

イトウ部会長「私としては、振り返りも含めて必要な時間だったと思う。」

ペレーラ委員長「私も早めたい気持ちもわかるが、もっと時間をかけて審議したかったという思いもあるので、本当に早めてよいのかと思う部分もある。」

レイバーマン委員「たしかに、早めにフィードバックをもらって意見を吸い上げることができればとてもよいと思う。一方で、私たちの議論の経過はニューズレターでも発信しているので、何か意見があれば事務局経由で聞くこともできると思う。」

ペレーラ委員長「事務局から何かあるか。」

事務局高橋専門調査員「提言の内容がそこまで固まっていない段階でオープン会議を開催してもよいのではないかという意見があったかと思うが、私の経験から

するとある程度具体的なアイデアを示さないと、参加者も何に対して意見を言えばよいかわからないので具体的な意見が返ってこないと思う。先日のオープン会議でも、情報・社会部会ではかなり具体的な案を示していたと思うのだが、それでも参加者からはもっと具体的にした方がよいという意見があった。」

ペレーラ委員長「ほかに何かあるか。」

ヒリストバ部会長「オープン会議の板書だが、できれば事務局にやってもらいたいと思った。」

ペレーラ委員長「ほかに何かあるか。（なし）それでは、このあとは部会審議だ。全体会の再開は16時35分とする。」

【安心生活部会】

ヒリストバ部会長「それでは、部会を始めたい。まずは、今日の部会審議について、事務局から説明をお願いする。」

（事務局五十嵐職員が資料5に基づき説明）

ヒリストバ部会長「何か質問はあるか。（なし）それでは、議事に入る。事務局から説明をお願いする。」

（事務局五十嵐職員が資料5-1に基づき説明）

ヒリストバ部会長「では、4つの確認事項について、確認していく。1つ目に、提言のテーマ名だが、「産後支援制度」から「産前・産後支援」に変更することに賛成の人は手を挙げてください。（全員賛成）2つ目に、項目1について「代表者会議が作成したヘルパー派遣事業と産後ケア事業に関する多言語ツール」という表現を「代表者会議が多言語で作成した川崎市の産前・産後支援に関するリーフレット」という表現に変更するかどうかということがある。（全員賛成）3つ目に、リーフレットの掲載内容について事務局から説明をお願いする。」

（事務局五十嵐職員がリーフレット案について説明）

ヒリストバ部会長「最初はヘルパー派遣事業、産後ケア事業、両親学級だけのつもりだったが、かなり情報量が増えて充実したように思う。何か意見はあるか。（なし）では、最後に項目4に「ママと赤ちゃんサポートシリーズ」を追加することに賛成の人は手を挙げてください。（全員賛成）追加することは決まったが、行政がつくったものではないので、載せ方は工夫する必要がある

あると感じる。何か意見はあるか。」

楊委員「項目に追加することとくに違和感はない。ただ、「ママと赤ちゃんサポートシリーズ」を作成した多文化医療サービス研究会がどのような組織なのかかわからないので、説明があるとよい。」

事務局五十嵐職員「説明の注釈を入れることにする。」

ヒリストバ部会長「では、事務局は提言のドラフトの読み上げをお願いする。」

（事務局五十嵐職員が資料5-1に基づき読み上げ）

ヒリストバ部会長「何か質問や意見はあるか。」

野田委員「「ママと赤ちゃんサポートシリーズ」は、横浜市や練馬区、板橋区などで活用されているとのことだが、具体的にどのように活用されているのか。」

事務局五十嵐職員「具体的な活用方法までは把握していない。」

楊委員「まず、私たちが議論してきたことがきちんと反映されていて、ここまで完成していて素晴らしいと思った。気になったのは1ページ目の下のグラフについてだが、グラフは0歳の外国籍の子どもの数だが片方の親が日本人の子どもの数はわからないか。」

事務局五十嵐職員「日本国籍を持つ外国につながる子どもの人数については、把握することができない。質問の意図としては、外国籍の子どもだけではなく、外国につながるのある日本国籍の子どものいるということを表現したいということか。」

楊委員「そうだ。」

事務局五十嵐職員「数字を出すことはできないが、文章の中で言及するようにしたい。」

楊委員「もう1つ、背景・理由のところでもう少し大きな背景として、核家族化や共働きの家庭が増えていて、そのことで母親が孤立してしまう傾向があると思うのだが、そのことは入れられないか。」

ヒリストバ部会長「細かいことだが、2ページ目の2行目のところは数字が見やすいように改行した方がよいと思った。それと、同じく2ページ目のグラフの次の段落のところは「川崎市には」があった方がよい。3ページ目の「実際に面談したときに」は誰がという主語が欲しい。それと、全体的に文章が長くなっている傾向があるので、一文を短くして欲しい。」

マイ委員「2つあるが、1つ目は〈やさしい日本語〉についての説明があった方がよいと思った。2つ目は、「両親ともに外国籍の世帯が増加している」とあるが、

片方の親が日本人の場合に、日本人の親の方にだけ説明するということがある
と思う。外国人の親に確実に情報が伝わるようにして欲しい。」

楊委員「リーフレットの提供方法についてだが、情報は適切なタイミングで渡すこと
が大事ということも議論したと思うので、そのあたりのことも入れて欲しい。」

事務局五十嵐職員「リーフレットの活用のところ、以前は産後ケア事業とヘルパー
派遣事業だけだったので外国人市民と事業者の相互理解のためという目的を書
いていたが、リーフレットの内容が増えたので少し事情が変わってきたと思う
のだからどうか。」

楊委員「たしかに、当てはまらない情報もあるので、削ってよいと思う。」

ヒリストバ部会長「それでは、最後に項目1の表現について決をとって決めたい。

選択肢は、「川崎市」を入れるA案、「川崎市」を入れないB案、「川崎市に
住む外国人市民のために」のような文章を追加するC案の3つだ。ほかに意見
はあるか。（なし）それでは、A案に賛成の人は手を挙げてください。

（0人）B案に賛成の人は手を挙げてください。（0人）C案に賛成
の人は手を挙げてください。（全員賛成）では、事務局は今日の審議内容
を反映して修正をお願いする。次回の予定について、事務局から説明をお願い
する。」

事務局五十嵐職員「次回は、今日の審議で決まったことを反映し、完成度を上げたも
のを準備する。次回が最後の修正の機会になる。」

ヒリストバ部会長「それでは、そろそろ時間になるのでこれで今日の部会審議を終わ
りにする。」

【情報・社会部会】

イトウ部会長「それでは、部会を始めたい。まずは、事務局から今日の部会審議につ
いて説明をお願いする。」

（事務局高橋専門調査員が資料6に基づき説明）

イトウ部会長「何か質問はあるか。（なし）それでは、議事に入る。まずは、
テーマ名の変更についてだ。事務局から説明をお願いする。」

（事務局高橋専門調査員が資料6-1に基づき説明）

イトウ部会長「何か質問や意見はあるか。（なし）では、まずは「介護保険
制度」を「介護保険」か「介護」のどちらかに変更したい。「介護保険」に

賛成の人は手を挙げてください。（ 5人 ）「介護」に賛成の人は手を挙げて
てください。（ 1人 ）それでは、テーマ名は「介護保険」に変更する。次
に、「日本語学習の機会の拡充」を「日本語学習」にすることに賛成の人は手
を挙げてください。（ 全員賛成 ）では、続いてオープン会議の振り返りに
ついて、事務局から説明をお願いします。」

（事務局高橋専門調査員が資料6－1に基づき説明）

イトウ部会長「何か質問や意見はあるか。」

ペレーラ委員長「事務局に聞きたいが、継承語を学ぶ取組を自治体としてやっている
ところはあるのか。」

事務局高橋専門調査員「私の知る限りだが。継承語を学ばせる活動を行政が
サポートしているという例はあるが、行政が主体となって継承語を保障するよ
うな取組をしている例というのは知らない。」

イトウ部会長「ほかに何かあるか。（ なし ）それでは、説明にあったように、
反映できるものは背景・理由に載せるということで、介護保険の経済的な問題
と継承語の保障については提言の項目に追加しないということでよいか。

（ 全員賛成 ）それでは、提言案の検討に入りたい。まずは、介護保険につ
いて事務局から説明をお願いします。」

（事務局高橋専門調査員が資料6－2に基づき説明）

イトウ部会長「何か質問や意見はあるか。」

レイバーマン委員「今まで私たちが話し合ってきたことを本当にきれいに取り入れ
て、まとめてあると思った。コメントとしては、項目の4つ目の広報・周知の
具体的な取組は書かれていないが、それでよいか。」

事務局高橋専門調査員「イベントでの周知だったり、SNSでの広報だったりという
いろな手法があると思うので、あまり指定しない方がよいかと思っている。も
し、何か具体的なアイデアがあれば載せてもよいかもしれない。」

イトウ部会長「何かアイデアはあるか。（ なし ）ほかに何かあるか。」

刘晨委員「1ページのグラフだが、ここでは定住傾向がある在留資格の人が約半分
になることを表現したいのだと思うがわかりにくい。該当する在留資格を右側
にまとめてしまった方がわかりやすいと思う。それと、2ページのグラフだが、
高齢者の人数は増えているが、割合はあまり変わっていないので、割合はなく
てもよいかと思うがどうか。」

事務局高橋専門調査員「割合を載せた理由は2つある。1つ目に、高齢者の割合を聞

かれた時にすぐわかるようにということがある。2つ目に、割合としては少ないが高齢者の人数は増加傾向にあるということを説明するためだ。どうするかはみなさんで決めて欲しい。」

李 敏 副委員長「4ページと5ページのところに、多文化理解に関する研修と〈やさしい日本語〉に関する研修があるが、ここに「定期的」というワードを追加して欲しい。」

事務局 高橋 専門調査員「具体的な文章については少し考えさせて欲しいが、追加することについては承知した。」

イトウ 部会長「あと3分くらいで介護保険を終わりにしたい。高齢者の割合を載せるかどうかを決めたい。載せることに賛成の人は手を挙げてください。（5人）載せないという人は手を挙げてください。（1人）それでは、載せることにする。次に、日本語学習の提言案に進みたい。事務局から説明をお願いする。」

（事務局 高橋 専門調査員が資料6-3に基づき説明）

イトウ 部会長「何か質問や意見はあるか。」

レイバ ー マン 委員「ICTという言葉はよく使われているが、説明があった方がよいかもしれない。」

事務局 高橋 専門調査員「最初にでてくる提言の項目のところに注を打って、説明するかたちでよいか。」

ペレーラ 委員長「3ページ目のところの方がよいのではないか。」

ユデク 委員「説明とは別にICTのあとに括弧で何の略なのかを書いた方がよい。」

事務局 高橋 専門調査員「過去の提言のスタイルを確認して合わせることにしたいが、それでよいか。（異議なし）」

李 敏 副委員長「項目2のICTの活用推進だが、私たちがこの会議で審議してきたのは地域の日本語学習だと思う。方針のように幅広い対象を念頭に置いているわけではないので、対象を明確にしておいた方がよいのではないか。」

事務局 高橋 専門調査員「たとえば、「地域で日本語を勉強したいと思っている人たちに對して」のような表現でよいか。」

李 敏 副委員長「具体的な表現は任せるが、それでよい。」

ユデク 委員「私も賛成だ。」

刘 晨 委員「2ページ目の川崎市外国人市民意識実態調査のところで、過半数の人が

知らないという結果に対して「非常にもったいない」とあるが、それで終わってしまっている印象がある。それと、「知っているが利用したことはない」の29.7%にも着目したいのではないか。」

レイバーマン委員「さらなる周知が必要ということを追加したらどうか。」

事務局高橋専門調査員「それでは、「知らない」と「知っているが利用したことはない」の中に潜在的な学習者がいるかもしれないので、さらなる広報が必要であるといったことを追加する。修正したものを次回の会議で検討していただくということではよいか。（異議なし）」

イトウ部会長「そろそろ時間だが、ほかに何かあるか。」

ペレーラ委員長「項目の3つ目の調査についてだが、これは1回だけなのか。それとも定期的にやっていくのか。何か具体的な動きがあるのか知りたい。」

事務局高橋専門調査員「私も調査は欠かせないと思っているが、今の時点で具体的な動きがあるわけではない。代表者会議の要望として、「定期的」という言葉を追加してもよいと思う。ただ、目安として5年くらいというのはあるが、どのくらいのスパンでというところまでははっきり書かない方がよいと思う。」

ペレーラ委員長「私も目安としては5年くらいかと思うが、はっきりと書いてもよいのではないかと思う。」

事務局高橋専門調査員「それでは、目安としてということで5年という数字を出すような表現でもよいか。」

ペレーラ委員長「それでよい。」

イトウ部会長「では、時間になったので審議はここまでとしたい。次回の予定について、事務局から説明をお願いする。」

事務局高橋専門調査員「時間が超過しているので1つひとつ確認はしないが、具体的な意見をいただいたので、基本的には反映できると思う。次回もまだ修正のチャンスがあるので、反映したものを確認していただければと思う。」

イトウ部会長「それでは、これで部会を終わりにする。」

【全体会】

ペレーラ委員長「それでは、全体会を再開する。まずは、部会報告だ。情報・社会部会から報告をお願いする。」

イトウ部会長「今日は、まず提言のテーマ名を変更した。「日本語学習の拡充」を「日本語学習」に、「介護保険制度」を「介護保険」にした。次に、オープン

会議の振り返りをしたが、今回いただいた意見は提言には反映しないこととした。介護保険の提言案については、円グラフをもう少し見やすくして欲しいという意見が出た。日本語学習の提言案については、ICTという言葉に注釈をつけることにした。それと、日本語の調査と介護の研修で「定期的」という表現を入れた方がよいのではないかという意見が出た。そのほか、文章の表現でいくつか細かい意見が出たので、事務局に修正案を作成してもらい次の会議で審議したい。」

ペレーラ委員長「何か質問はあるか。（なし）続いて、安心生活部会の報告をお願いする。」

ヒリストバ部会長「まず、安心生活部会でもテーマ名の変更をした。「産前・産後支援制度」を「産前・産後支援」に変更した。次に、項目1のリーフレットのところで「川崎市」というのを追加することにした。リーフレットの内容についても、これまでは産前・産後ケアとヘルパー派遣事業だけだったが、ほかにも情報を載せることにして、いろいろな情報の概要版のようにすることにした。最後に、オープン会議のコメンテーターの先生が紹介してくれた「ママと赤ちゃんサポートシリーズ」はすごくよいものだったと思うので、これも項目に追加して多くの人に知ってもらいたいということになった。」

ペレーラ委員長「何か質問はあるか。（なし）では、次に実行委員会報告だ。ニューズレター編集委員会の報告をお願いする。」

野田委員「今日はNo.79の記事について話し合った。発行は2024年3月下旬で、第14期の最後のニューズレターになる。最後はみなさんの感想を書いてもらっている。これまでと変更点があって、これまでは自分の言語で書いてもらってもよいとしていたのだが、今回からは誰でも読めるように日本語にしようということにした。」

ペレーラ委員長「今日の議事は以上だ。事務局から事務連絡をお願いする。」

事務連絡

- ・年次報告書のアンケートについて
- ・バブリックコメントについて

ペレーラ委員長「これで、今日の日程はすべて終了だ。次回は、2024年1月14日、日曜日、国際交流センターで開催する。これで、2023年度第3回

第^{だい}2^{にち}日の^{かいぎ}会議^おを^お終わりにする。」